

# パソコンを楽しもう

## 第3回

プリンタの選び方



ネットワーク・SUGINAMI

2007年11月24日

## はじめに

皆様、こんにちは！ ここの講習会によろこそ！  
これからパソコンの活用方法を少しずつですが提案していきたい  
と思います。

この文章は次のことができる方を想定して書かれています。  
パソコンの起動・終了ができる。  
マウスが使える(左クリック・右クリック・ドラッグ)。  
キーボードで文章が打てる(遅くてもOK)。  
インターネットのホームページをみることができる。

もし上に書かれていることで、わからないことがあれば、遠慮  
なく近くの人に聞いてみてください。障がいでもマウスやキーボ  
ードが使えない方もいらっしゃると思いますが、代替の方法があ  
りますのでご相談ください。誰もが一度は通ってきた道なので、  
恥ずかしがったりすることはありません。また、初心者の方はな  
かなかわかりづらかったりするので、同じ質問でも、わかるまで  
何度でも質問してください。

## お願い

講習会では写真を撮っています。このうちの2～3枚程度を毎  
回の紹介と記録としてホームページに載せています。もし、公開  
されたくないという方がありましたら、遠慮なく申し付けください。

## 1. 染料系と顔料系

プリンタは使っているインクの種類によって、染料系インクと顔料系インクの2つに分けられます。

染料系インクは水性です。水に弱く、すぐにじんでしまうので、屋外や炊事場での使用には向きません。発色がいいのですが、インクを紙に染み込ませるので、輪郭がにじんでぼけやすいです。光や空気中のオゾンに弱く、長期保存は苦手です。

顔料系インクは油性です。水ににじまないなので、屋外での掲示に有効です。インクを紙に乗せるような形になるので、輪郭がくっきりしますが、名刺等の摩擦の多い環境は苦手です。

## 2. 旧来型染料系インクジェットプリンタ

家庭向けプリンタの多くはインクジェットプリンタです。液体のインクを紙に吹き付けて印刷します。現在では顔料インクを使用したインクジェットプリンタもありますが、以前は全て染料インクのプリンタでした。この頃のプリンタは、退色が激しく、直接空気に触れて、光の当たるところにおいておくと、1週間程度で色あせる事もありました。

## 3. 改良型染料系インクジェットプリンタ

現在販売されている特に顔料インクと表示されていないプリンタはほぼこのタイプです。染料インクは、色の退色が弱点でしたが、最新の機種になると、顔料インクに迫る耐久性を持つものもあります。

## 4. 顔料系インクジェットプリンタ

屋外の掲示に使うならばこのプリンタを選びます。長期保存に適しているのが特徴でしたが、染料系インクも保存性が改善されたきています。エプソンのプリンタ（PXで始まる型番のプリンタ）が有名です。キャノンでは文章がくっきり写るように黒インクだけ顔料でカラーは染料のプリンタを

出しています。

## 5. レーザープリンタ

会社のオフィスにおいてある、ちょっと大きめのプリンタは多くがレーザープリンタです。家庭で使うには値段が高めです。トナーと呼ばれる顔料系のインクを使用します。高速で、普通紙でもきれいに印刷できるのが特徴です。ちなみにコンビニに等においてある、大きなコピー機はレーザープリンタです。

## 6. 熱転写・昇華型プリンタ

熱転写プリンタは、リボンについてのインクを熱で紙に貼り付ける顔料系プリンタです。昔のワープロで良く使われていましたが現在は、一部のファックス等で使われています。

また昇華型プリンタは熱転写の発展系で、2 Lサイズまでの写真用小型プリンタの一部で使われています。高精彩にプリントできるのが特徴です。

## 7. プリンタの対応サイズ

家庭で使うプリンタの多くは、はがき～A4サイズまでのプリンタです。売れ筋なので多くの種類が出ています。

最近ではデジカメでとった写真をその場でプリントできる、L～2Lサイズまでの持ち運びできる小型プリンタも人気です。

A3サイズまで印刷できる大型プリンタも出ていますが、だいぶ高額になります。

## 8. プリンタの機能・複合機

プリンタと画像を読み取るスキャナの機能が一体化した複合機と呼ばれる機械があります。この機械の特徴はパソコンを介さなくても単体でコピー機として使用できることと、省スペースです。

印刷のプロの方のお勧めでは、機械の耐久性と新製品の販売ペースを考えると、スキャナを単体で買って5年くらい使

って、安いプリンタを2年半くらいで買い換えるのがいいのではという意見もあります。

パソコンを介さずにプリンタとデジカメをケーブルでつないだり、メモリーカードをプリンタに入れたりして、写真プリントができる機種が増えています。

また、自分で作ったレーベルをCDやDVDに印刷できる機能を持ったものもあります。

## 9. マット紙と光沢紙

写真のプリントでは、光沢紙のほうが見た目がいいのですが、長期保存をしたいのであれば、非光沢紙（マット紙）を使用されることをお勧めします。光沢紙は退色が早いと言われています。

## 10. 写真屋さんのプリント

写真屋さんのプリントにふれたいと思います。写真屋のプリントは調べたのですが、具体的にどのようなプリント方法なのかはわかりませんでした。しかし、顔料系のインクで長期保存に優れている事は確かです。

写真屋さんなのでカメラの画像しかプリントできないと思われるかもしれませんが、画像であればイラスト等でもプリントできます。

自動販売機のような機械で、カメラのメモリーカードを入れてその場ですぐにプリントする機械がありますが、これは安いプリンタでプリントしている事があるのであまりお勧めできません。

きちんとしたプリントであれば、写真の裏にフジフィルムとかコニカミノルタとかのロゴマークが印刷されているのでそれで確認してください。

## 11. ネットプリント

デジカメ写真を写真屋でプリントしようとする時、カメラかメモリーカードを一度持って行って、さらに完成してから

もう一度とりに行く必要があります。

インターネットを使うとデータと注文をネットで送って、一度とりに行くだけにする事ができます。ネット通販ができる方は同じような感覚で注文できると思います。

参考までからすの使っているサイト

<http://www.photo10.jp/>

また、写真に広告が入ることで無料でプリント（月に**30**枚まで）してくれるサービスもあります。気軽に遊び感覚で使ってみると面白いと思います。

<http://www.priea.jp/top/>